

第七十六回帝國議會
衆議院

國民貯蓄組合法案外四件委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年二月十五日(土曜日)午後一時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 菊池 良一君

理事伊東 岩男君

阿部 茂夫君

大島 寅吉君

清水徳太郎君

高島龜太郎君

三木 武夫君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 相田 岩夫君

大藏書記官 坂口 芳久君

大藏書記官 山際 正道君

國民貯蓄獎勵局長 栗原 修君

商工省振興部長 堀 義臣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民貯蓄組合法案(政府提出)

國民更生金庫法案(政府提出)

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

農工銀行法中改正法律案(政府提出)

○菊池委員長 是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、只今大藏大臣及ビ大藏次官ノ御二人ノ方ガ、丁度豫算總會ニオイデニナルノダサ

ウデ、今ノ所コチラヘ御見エニナラスコトニナツテ居リマス、ソレデ國民貯蓄獎勵局長栗原政府委員ニ、此ノ提案ノ理由ヲ説明シテ載クコトニ致シマス、即チ國民貯蓄組合法案、國民更生金庫法案、日本勸業銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、此ノ五案ヲ一括シテ提案ノ理由ヲ伺フコトニ致シマス——栗原政府委員

○栗原政府委員 當委員會ニ付託ニ相成リマシタ國民貯蓄組合法案外四件ニ付キマシテ、提出ノ理由ヲ説明致シマス、先ヅ國民貯蓄組合法案ニ付テ申上ゲマス

政府ニ於キマシテハ戰時ニ於ケル財政經濟ノ圓滑ナル運行ヲ圖ル爲メ、國民貯蓄ノ獎勵ニ力ヲ致シテ參ツタノデアリマスガ、國民ノ貯蓄心ヲ涵養シ、貯蓄ノ一般の向上ヲ圖ル爲ニハ、貯蓄組合ノ發達ニ俟ツモノト充實ニ努メ來ツタノデアリマス、其ノ結果昨年九月末現在ノ内地ニ於ケル組合數ハ五十一萬五千、組合員數ハ三十四萬餘人、貯蓄現在額ハ十五億二千七百餘萬圓ニ上ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ現下時局ノ推移ニ伴ヒ、貯蓄獎勵徹底ノ要益、緊切ノ度ヲ加ヘツツアル今日ニ於キマシテハ、國民貯蓄組合ヲ一層整備充實セシメ、之ヲ

シテ國民貯蓄獎勵運動ノ核心タラシムルコトヲ緊要ト存ジ、本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス

本法律案ノ骨子ニ付テ申シマスレバ、之ヲ大別シテ國民貯蓄組合ノ機構ニ關スル規定、指導監督ニ關スル規定及ビ保護助長ニ關スル規定ノ三ニ分ツコトガ出來ルノデアリマス、第一ニ國民貯蓄組合ノ機構ニ付キマシテハ、現在存スル貯蓄組合ノ實狀ニ即シ、其ノ形態ヲ整備スルコトヲシタノデアリマス、第二ニ指導監督ノ規定ト致シマシテハ、先ヅ國民貯蓄組合ノ幹旋ヲ爲ス貯蓄ノ方法ヲ定メ、又組合規約其ノ他重要ナル事項ニ付キ届出ノ義務ヲ課シ、又報告ノ徵取、實地檢査、代表者ノ改任其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲シ得ル旨ヲ定メタノデアリマス、第三ニ保護助長ニ關シマシテハ、國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依リ貯蓄ニ付キ甲種ノ配當利子所得ニ對スル分額所得稅ヲ免除スルコトヲ致シマシタ、即チ元本三千圓ヲ超エザル銀行預金、又ハ金錢信託ノ利子、又ハ利益並ニ額面金額三千圓ヲ超エザル國債ノ利子ニ付キ一定ノ條件ノ下ニ免稅ノ途ヲ拓イタノデアリマス、銀行貯蓄預金、產業組合貯金等ノ利子所得ニ付キマシテハ、現行所得稅法ニ於キマシテモ、元本三千圓以下ノモノハ、非課稅トナツテ居ルノデアリマ

スガ、此ノ外更ニ國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依リ貯蓄ニシテ、元本五千圓ヲ超エザルモノハ、一定ノ條件ノ下ニ分額所得稅ヲ免除スルコトニ致シタノデアリマス

次ニ貯蓄銀行以外ノ銀行ハ、貯蓄銀行法ニ依リ、複利ノ方法ニ依リ預金、並ニ據置預金ノ受入ヲ禁止セラレテ居ルノデアリマスガ、國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依ル場合ニ限リ、是等ノ預金ヲモ取扱ヒ得ルヤウ規定致シタノデアリマス、次ニ國民貯蓄組合ニ對シマシテハ、補助金又ハ獎勵金ヲ交付シ得ルコトヲ規定シ、別途追加豫算ニ所要經費ヲ計上致シタ次第デアリマス、尙ホ政府ト致シマシテハ、本法案通過ノ曉ニ於テ、其ノ適切ナル運用ニ依リ、所期ノ目的達成ニ努ムルト共ニ、之ヲ根幹トシテ益、貯蓄獎勵運動ノ強化ニ、萬全ヲ期セントスル次第デアリマス

次ニ國民更生金庫法案ニ付キマシテ、其ノ大略ヲ説明致シマス、國民更生金庫ノ目的ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ御説明申上ゲマシタ通り、時局ノ要請ニ應ジテ、轉業又ハ廢業ヲナサントスル中小商工業者等ノ爲ニ、其ノ資産ノ處分及ビ負債ノ整理ヲ促進シ是等轉廢業者ノ轉業又ハ轉職ヲ容易カラシメントスルニ在ルノデアリマス、此ノ目的ヲ達成致シマス爲ニ、本金

付託議案

國民貯蓄組合法案(政府提出)(第六六號)
國民更生金庫法案(政府提出)(第六七號)
日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)(第六八號)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)(第六九號)
農工銀行法中改正法律案(政府提出)(第七〇號)

庫ハ其ノ組織ヲ非營利ノ特殊法人トシ、其ノ資本金ニ千萬圓中、千九百萬圓ヲ政府出資ト致シタノデアリマス

本金庫ノ主タル業務ハ、轉廢業者ノ爲ニスル資産ノ管理、又ハ處分ノ引受並ニ處分ヲ委託セラレタ資産ヲ擔保、又ハ見返リトスル資金ノ融通デアリマスガ、資産ノ處分ヲ引受クル場合ノ價額ハ、一應營業ヲ繼續スルモノトシテ評價シタルモノニ依ラシムル方針デアリマシテ、斯クノ如ク轉廢業者ニ有利ナル資産ノ換價ハ、既設機關ヲ以テシテハ爲シ得ナカッタコロデアリ、此ノ點コソ本金庫ノ特色ヲ爲スモノデアリマス、尙ホ本金庫ニ於テハ、其ノ他轉廢業者ノ爲ニスル債務ノ引受、又ハ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得、更ニ必要ガアレバ、主務大臣ノ認可ヲ受ケ、右以外ノ業務ヲ行ヒ得ルコトヲ致シタノデアリマス、又本金庫ノ事業資金ハ、更生債券ノ發行ニ依リ調達セシムルコトトシ、其ノ發行限度ハ拂込資本金ノ十倍マデト致シタノデアリマス

次ニ本金庫ノ主タル事務所、即チ本所ハ之ヲ東京市ニ、支所ハ差當リ之ヲ大阪市ニ置キ、東京、大阪以外ノ全國各道府縣廳所在地ニハ、出張所ヲ設置スル豫定デアリマシテ、其ノ業務ヲ迅速ニ處理セシメ、轉廢業者ノ便益ニ資セシメントスルノデアリマスガ、更ニ銀行其ノ他ノ法人ニモ、業務ノ一部ヲ代理セシムルコトヲ致シ、本金庫ノ機能ノ發揮ニ付キ遺憾ナキヲ期セシメントスル次第デアリマス、斯クノ如ク本金庫ハ、特殊ノ使命ヲ有スルモノナルニ顧ミマシテ、政府ハ之ニ對スル監督ニ付キ、特ニ周到ヲ期シマスルト共ニ、前ニ申述ベマシタ政府出資ノ外、租税ノ減免、損失ノ補償、補助金ノ交付等、各種助成ノ方途ヲ講ジテ

居ル次第デアリマス、以上ガ國民更生金庫法案ノ概略デアリマスガ、昨年十二月一應ノ暫定的措置トシテ、民法ニ基キ設立セラレマシタ財團法人國民更生金庫ハ、本法案ニ基キ特別法人タル國民更生金庫設立ノ曉ニハ直チニ解散シ、新ナル國民更生金庫ニ對シマシテ、其ノ業務ヲ引繼グ豫定デアリマス

次ニ日本勸業銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案及ビ農工銀行法中改正法律案ノ三件ヲ一括シテ説明致シマス

日本勸業銀行法及ビ農工銀行法ハ明治二十九年、又北海道拓殖銀行法ハ、明治三十二年ノ制定ニ係ルモノデアリマスガ、是等ノ法律ハ其ノ制定ノ當初是等ノ銀行ノ業務ニ對シマシテ、相當嚴重ナル制限ヲ設ケ、其ノ堅實ナル發達ヲ期スルコトヲ致シタノデアリマス、然ルニ創立後ニ於キマスル是等銀行ノ業況ハ、極メテ順調デアリマシテ、其ノ信用モ加ハツテ參リマシタ爲メ、法律ニ依ル制限ハ漸次嚴ニ失スル嫌ガアルニ至リマシタノデ、明治三十一年既ニ日本勸業銀行法ノ改正ヲ行ヒマシテヨリ、今日マデ屢、改正ヲ行ヒ、以テ時勢ノ進運ニ即應セシメテ參ツタノデアリマス、然ルニ今次事變ノ進展ニ伴ヒマシテ、此等ノ銀行ノ擔當スベキ任務ハ、一層ノ重要性ヲ加フルニ至ツタノデアリマシテ、斯ル情勢ニ對處シ、是等銀行ノ機能ヲ擴充スルガ爲ニハ、更ニ法律ノ改正ヲ行ヒ、是等不動産銀行ノ業務ニ對スル、法律上ノ制限ヲ緩和スルノ必要ヲ認ムルニ至ツタノデアリマス、即チ今回改正ヲ行ハントスル主要ナル點ヲ、日本勸業銀行ノ場合ニ付テ御説明致シマスナラバ、第一ハ貸付ノ擔保トナシ得ルモノノ範圍ヲ

擴張シマシテ、財團一般ニ及ボシ、又漁船等ヲ新タニ加フルコトヲ致シタノデアリマス、第二ハ貸付ノ方法及ビ期間ニ關スル制限ヲ緩和シテ、山林抵當貸付ノ定期償還貸付期間ヲ、二十箇年マデ伸張シ得ルモノトシ、年賦金ニ付テハ元利均等ナルコトヲ要スル旨ノ規定ヲ削除シ、十人以上連帶貸付ノ制度ヲ五人以上ヲ以テ足ルコトトシ、財團抵當貸付ニ付キ、財團設定前ノ資金ノ融通ヲ認メ、及ビ農林又ハ水産ニ關スル事業ヲ營ム特殊法人ニ對スル手形ノ割引、又ハ當座貸越ヲ認ムルコトヲ致シタノデアリマス、第三ニハ市街地貸付、及ビ預リ金ニ關スル制限ヲ緩和致シマシタ、第四ニハ有價證券投資ノ範圍ヲ、擴張致シタノデアリマス、第五ニハ賣出債券ニ關スル登記手續ノ簡易化ヲ圖ツタノデアリマス

以上ハ日本勸業銀行法ニ付テ、御説明致シタノデアリマスガ、農工銀行法及ビ北海道拓殖銀行法ニ付キマシテモ、之ニ準ジテ改正ヲ爲サントスルノデアリマス、以上申述ベマシタ各法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上、御贊成アラントヲ希望致シマス

○菊池委員長 是カラ質疑ニ入リマスガ、何カ資料ノ御要求ハアリマセスカ

○伊東委員 資料ヲ要求致シマス

一、最近三箇年ノ業種別失業率調

二、最近三箇年ノ業種別轉業先調

三、企業合同ニ依ル失業者調

四、七・七禁令ニ依ル失業者調

五、日米開戦ノ場合ニ於ケル失業者豫想調

六、各府縣別形態別企業合同調

七、轉業資金貸付内譯調

八、國民更生金庫法ニ關聯スル政府豫算ノ内譯

九、轉業及ビ失業ニ關聯スル政府豫算ノ内譯

是ダケノ資料ノ御提出ヲ願ヒマス

○菊池委員長 政府ノ方ニ其ノ要求ヲ致シマス——是カラ便宜上國民貯蓄組合法案ト國民更生金庫法案ノ二案ヲ、一括シテ質疑ヲ願ヒマス

○阿部委員 私ノ御伺ヒ致シタイ問題ハ、極メテ常識的ナ問題デ、成ベク理論的ナ問題ヲ外シテ御伺ヒ致シタイと思ヒマスカラ、其ノ意味デ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス、尙ホ數字等ニ關シマシテハ、只今同僚議員カラノ發言ニ依リマシテ、不日參考資料ガ手ニ入ルト思ヒマスカラ、ソレハ細カク御説明ガナクテモ宜イト思ヒマス、第一點ハ時局ノ影響ヲ受ケテ、大體今日マデ中小商工業者ニシテ轉業若シクハ廢業、或ハ失業致シマシタ總數ノ、是ハ想定デ宜シウゴザイマスガ、大體ドレ位ニナツテ居ル御見込デアルカ、御説明ヲ願ヒタイ

○堀政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、實ハ時局ノ影響ヲ受ケマシテ、ドレダケ失業シタカ、或ハ轉業シタカト云フ調査ガ、甚ダ不備デアリマシテ、其ノ大體ノ見當モドノ位ト云フコトハ、最近ノ所立テ兼ネテ居リマス、私ノ方デ調査シテ居リマスモノハ、昨年ノ二月頃マデノ調査ガ參ツテ居リマスダケデ、其ノ後外交轉換ヲ契機ト致シマシテ、非常ニ失業問題ガ喧シクナリマシテ以來ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトハ、計數的ニハ只今私ハ承知シテ居リマセス、唯大體ノ見透シト致シマシテハ、中小商工業者デ轉失業ノ已ムナキニ至ツタ

ト云フモノハマダ、餘リ多クハナイモノト云フヤウニ考ヘテ居リマス、但シドノ位ト云フ見透シハ、今申上ダ兼ネマス、先程ノ御質問ニモ關聯致シマシテ、出來ルダケノ調査ヲ致シマシテ、後刻御答ヘ致シタイト思ヒマス

○阿部委員 ソレデハ後程又御示シテ願フト致シマシテ、モウ昨年來カラ、本年ニ掛ケテ、中小商工業者ノ轉廢業ニ關スル對策ヲドウスルカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、中央ト地方トヲ問ハズ凡ユル新聞雜誌、若クハ座談會等々ニ於テ、是ガ對策ヲ論議サレ、其ノ具體案ヲ説明サレタ記事ヲ、私共ハ見タノデアリマスガ、大體之ヲ分ケ

マスト轉廢業若クハ廢業、失業者救済、或ハ更生ニ關シマシテハ、是ガ指導訓練ヲシマシテ、産業人トシテノ再編成ヲシテ送り出ス、斯フ云フヤウナ考ヘ方ト、モウ一ツハ全然現在マデノ業カラ離レテ或ハ歸農スル、或ハ其ノ他ノ業ニ向フ、モウ一ツハ斯ウシタ時局カラ轉廢業ノ已ムヲ得ザルニ至ツタ人達ヲ、大陸方面ニ進出サセル手ハナイカ、斯ウ云フ議論ヲサレ、或ハ又寧ロサウ云フ人達ヲ轉廢業ニシテモ廢業ニシテモ、差當リ重要ナ問題ハ現在ノ始末、或ハ過去ノ負債ノ整理等々ニ關シマシテ、所謂今日モ提案ニナツテ居リマス更生金庫ノ如キ金融ヲ付ケルコトニ依ツテ、之ヲ一時救済シヨウ、大體斯ウ云フヤウナ三ツ乃至四ツノ方法ニ依ツテ明示サレテ居リマスガ、其ノ都度商工省ノ役人等モ出マシテ、意見ヲ開陳サレテ居リマスコトヲ、私共同ツタノデアリマスガ、未ダ其ノ轉廢業者ニ對スル救済、若クハ更生ノ具體的方法ヲ、此ノ方法ニ依ツテヤルノダ、是ガ一番妥當

ナ而モ實現性ノアル方法デアアル、斯ウ云フヤウナコトガ遺憾ナガラ明示サレナイデ、今日マデハ一個ノ學者若シハ研究家ノ私案ノ發表、若シハ考ヘ方ニ過ギナイデ、サウシタ對策ガ遺憾ナガラ示サレテナイノデアリマスガ、此ノ際御差支ヘナケレバ、斯ウ云フ問題ニ對シテ、ドノ方法ニ依ツテヤルノカ、或ハ綜合的ニ之ヲヤルノカ、若シハ其ノ他ニ何カ適當ナル救済、若シハ更生ノ方法ヲ御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ御説明願ヒタイノデアリマス

○堀政府委員 轉廢業問題ニ付キマシテ、商工省ト致シマシテハ、中小商工業者ガ不必要ニ轉廢業、失業ノ已ムナキニ至ルコトノナイヤウニスルコトガ、最も適切デアアルト云フコトヲ、先ヅ考ヘテ居リマス、其ノ爲ニハ中小商工業ノ維持ト云フ問題ト、ソレカラ一方特ニ工業方面ノ問題デアリマスガ、日本ノ生産力ノ維持擴充ト云フ問題ト、兩方睨合セマシテ、對策ヲ立テル必要ガアルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、其ノ具體的ノ方策ト致シマシテハ、工業ニ付キマシテハ例ヘバ鐵工業デアリマス、機械工業デアリマス、各工業毎ニソレノ大工業者モ、中小工業者モ、一貫致シマシタ事業ノ整理方針ヲ立テマシテ、之ヲ工業組合聯合會、工業組合ト云フヤウナ業者ノ團體、ソレカラ地方廳ノモノト連絡致シマシテ、段々末端ニ及ボシマシテ實行スル、商業者ノ方ニ於キマシテモ、物資ガ最も配給ガ圓滑適正ニ參リマサユナ機構ヲ考ヘルト云フコトニ致シマシテ、中小ノ商工業者ガ、ソレノ存在理由ヲ出來ルダケ發揮シ得ルヤウナ途ヲ考ヘテ行クト云フコトヲ必要ト考ヘテ居リマス、サウ

致シマシテモ、ドウシテモ尙且ツ相當ノ轉廢業者ガ出ルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマスガ、先ヅ轉廢業ト云フコトガ、不必要ニ、或ハ不自然ニ起ラナイヤウニ出來ルダケ中小商工業者ト云フモノノ經濟上ニ於ケル特性ヲ利用致シマシテ、大キナ工業組織、或ハ商業組織ノ中ニ吸收シ得ルモノハ吸收シテ行クト云フ考ヘテ執ツテ居リマス、尙ホ已ムヲ得ズ轉廢業、失業致シマス者ニ付キマシテハ、ソレハ只今御話ノ通り、各方面ニ對スル轉廢業及ビ財産上ノ援助ト云フヤウナ、諸般ノ方策ヲ綜合的ニ實行スルコトニナツテ居リマス

○阿部委員 大體御説明ノ筋ハ諒解出來ルノデアリマスガ、尙ホハツキリ出來ナイ問題ハ、多ク今マデ論議サレテ居リマス人達ノ言葉ヲ引用致シマシテモ、只今御説明ノアリマシタヤウナコトハ、隨分言ハレテ居ルノデアリマス、唯併シ直接中小商工業ノ業ニ携ツテ居リマス者ノ立場カラ申シマス、今日ノ時局ノ影響ニ依ツテ轉廢業ノ狀態ニ進マントスル者、或ハ轉廢業ノ已ムヲ得ザルニ至ツタ者、斯ウ云フ三段階ヲ區別シテ、之ヲ救済更生等ノ問題ニ關聯シマスル時ニ、勿論商工省ダケノ對策デ、是ガ萬全ヲ期スルコトノ出來ナイコトハ、私モ承知デアリマスガ、厚生省等ノ案ヲ見マシテモ、單ナル呼掛ケデアリマシテ、ドウシテ此ノ時局ノ、サウシタ波カラ來ル影響ヲ防グコトガ出來ルカ、更生スルコトガ出來ルカ、斯ウ云フ具體的ナ問題ニ對シテ御説明ガナイ爲ニ、業者ハ非常ナ困難ト焦躁ノ感ニ驅ラレテ居ルノデアリマス、ソコデ只今モ御説明ガアリマシタガ、不必要ノ

轉廢業者ヲ出サナイ、サウシテ出タ所ノ者、或ハ出ントスルヤウナ者ハ、之ヲ大會社若シハ大工場方面ニ吸收スル途ヲ執ルト云フヤウナ、御説明ガアリマシタガ、之ニ吸收スル方法ハ、恐ラクハ私ノ私見ヲ以テ致シマシテモ、現在ノ中小商工業者ノ轉廢業ノ形カラ、直チニ工場ヘモ、或ハ大商店ヘモ、大會社ヘモ之ヲ吸收スル譯ニイキマス、隨テソレハ吸收スルトシマスルナラバ、所謂産業人トシテノ再編成ヲシ、再訓練ヲ施シテ救済スルノデアルカ、或ハ救済スベキ地位ニアルベキ産業團體カ、或ハ産業「クラス」ガ一ツノ組織、機能ト云フモノノ再編成、若シハ改編等ヲ行ツテ、サウ云フ人達ヲ吸收スルヤウナ方法ニ、之ヲ御考ヘニナルノカ、或ハ其ノ他ノ方法ニ依ツテ之ヲ吸收シテ行キ、或ハ救済スルヤウナ考ヘデ居ルノカ、モウ少シ具體的ニ御説明ガ願ヒタイト思フノデアリマス

○堀政府委員 先程吸收ト云フ言葉ヲ使ヒマシテ、言葉ガ足りマセヌ爲ニ、私ノ申上ゲル意味ガ、一寸御分リニクカッタヤウニ思ヒマス、恐縮ニ存ジマス、私ガ先程使ヒマシタ吸收ト云フ意味ハ、中小工業——主トシテ工業ノ問題デゴザイマスガ、中小工業ト云フモノヲ、唯其ノ儘ニシテ置イタノデハ到底立行カナイ、之ヲ大工業ト一貫シタ組織ト申シマスガ、一貫シタ工業力トシテ考ヘマシテ、日本ノ生産力ノ維持擴充ト云フ點ニ於テ、役立チ得ルモノハ、役立ツヤウナ立場ヲ與ヘテ行クト云フ意味デ、謂ハバ其ノ組織ノ中ニ吸收シテ行クト云フ意味デ、先程ハ吸收ト云フ言葉ヲ使ヒマシタノデス、其ノ方法ヲ具體的ニ申シマスレバ、例ヘバ下請工業ト云フヤウナモノヲ整理致

シマシテ、只今下請工業ト云フモノが大變ニ亂雜ニナツテ居リマス、ト申シマスコトハ、所謂親工場ト下請工場トノ關係ガ、經常的ニナツテ居リマセヌノデ、親子ノ關係ガ始終變ツテ居ル、親工場ト下請工場トノ關係ガ始終變ツテ居ルト云フコトニナツテ居リマシテ、是デハ大變面白クナイト存ジマスルノデ、今後ハ大體下請工場ト親工場トノ關係ヲ、經常的ナモノトスル、下請工場ヲ指定致シマシテ、親工場ハ特定ノ下請工場ニダケ仕事ヲ出スト云フ經常的ナ關係ヲ作りマシテ、仕事ヲ與ヘルノミデナク、親工場ハ下請工場ノ經營、技術等ニ付キマシテモ、責任ヲ以テ指導シテ行クト云フヤウナ、有機的ナ關係ヲ作りマシテ、サウシテ中小ノ工業ガ立行クヤウナ途ヲ考ヘテヤル、斯様な意味ニ於キマシテ、私ハ先程吸收ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、唯、只今ノ御質問ニアリマスル愈、私ガ今申上ゲマシタヤウナ方法ニ依リマシテモ、尙且ツ轉廢業ノ餘儀ナキニ至ツタ者ヲ、大工場ナドニ持ツテ行クニ付テ、ドウスルカト云フ御質問ト考ヘマスガ、ソレニ付キマシテハ、厚生省ノ方デ考ヘテ居リマスル國民勤勞訓練所デアリマスルカ、或ハ職業指導所等ニ於キマシテ、新シイ職場ニ就クニ必要ナダケノ訓練ヲ致シマシテ、ソレヲ成ベク本人ノ前職、或ハ健康ト云フヤウナ點ヲ考ヘマシテ、本人ニ適合シタ方面ニ持ツテ行クト云フ方針デ、新シイ仕事ニ就カセルト云フコトニナルノデアラウト考ヘテ居リマス

○阿部委員 今ノ御説明デハ、工業部門ノ方ノ御説明デアリマシタガ、モウ一ツ御同ヒ致シタイノハ、然ラバ大工場ト下請工場トノ關係ハ、有機的、全體的、統一的ニヤ

ラレルト云フ意味ニ於テ、不請ノ方ニ對スル指導及ビ是ガ運營、訓練等ヲ大工場ガヤツテヤリ、サウシテ運營ヲ有機的ニ一元化シテ行クト云フ御説明デアッタヤウデアリマスガ、申上ゲルマデモナク、下請工場ノ今日ノ現段階ニ於ケル中小工業者ガ持つテ居リマスル機能、設備、之ヲ運營致シマス所ノ、何ト云ヒマスカ一ツノ能力ト云ヒマスガ、サウ云フ點ヲ綜合シタ結果ヲ、時專門家ノ言葉ヲ通シテ伺フデアリマスガ、私共ハ世界優秀ナ中小工業者ノ階級ダト思ツテ居リマシタ日本ノ生産力、機械力ト云フモノガ、其ノ點ニ到達致シテナイノデアリマス、斯ウ云フコトガ最近數箇年ノ經驗ニ於テ明瞭ニナツタ、其ノ理由ガ何處ニアルカト申シマス、一ツハ設備ガ不完全デアル、モウ一ツハ技術ガマダ熟練シテナイ、モウ一ツハ高度ノ國防國家等ニ必要ナル物ノ生産ニ對スル高度ノ機械ガナイ、精密機械ガ缺ケテ居ル等々ノ問題ガ、サウシタ結果ヲ招來シタ理由ダト云フコトヲ、私共伺ヒマス時ニ、如何ニ有機的、統一的ニ親工場ガ之ヲ指導シテ行クトシマシテモ、下請工場ト云ヒマシテモ、段階ガ多數アリマシテ、第一段、第二段、第三段、第四段、甚シイノハ五段位マデ出來テ居ルト、私ハ思フノデアリマスガ、サウ云フ末梢マデヤハリ指導シ、末梢マデ運營等ヲ監督シテ行クト云フ爲ニハドウシテモ今ノ業者ノ組織ヲシ變ヘル、例ヘバ今日ノ流行言葉デアリマスル企業ノ合同ト云ヒマスルカ、アア云フ一ツノ方法ニ依ツテ、今ノ組織ヲ再編成シテ、設備ヲ改善シテ行ク、技術ヲ練磨シテ行ク、ソレガ爲ニハ一面ニ於テ資本デアル、一面ニ於テ物デアル、斯ウ云フ關係等々ガ茲ニ

殘ツテ參リマセヌ時ニハ、如何ニ理論的、計畫的ニ考ヘマシテモ、其ノ實ガ擧ラナイノデハナイカ、殊ニ一般的ニ申シマス、時局ノ影響ヲ受ケテ、毎日貧困化シテ行ク資材ノ問題等々ヲ考ヘマス、加速度的ニ轉失業ノ已ムヲ得ザル結果ヲ招來スルノデハナカラウカ、斯ウ云フ者ヲ更生サセ救済シテ行クト云フ爲ニ、工業部門ダケニ於キマシテモ、單ナル親工場ト下請工場トノ此ノ關係ニ於テ申サレマスガ、ソレハ一面ニ於テ、軍需工場等ノ場合ニ於キマシテハ、或ル程度マデ御説ノヤウナ結果ガ得ラレルト思ヒマスガ、今日全國ニ於ケル最モ困ツテ居リマスル狀態ハ、寧ロ所謂平和産業方面、或ハ舊來ニ於ケル多少ノ裝飾、贅澤、斯ウ云フヤウナ方面ノ業ニ從事シテ居リマスル中小以下ノ業者ガ、逼迫シテ居リマスルハ御承知デアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ方面ニ付キマシテハ、今御説ノヤウナ、單ナル大工場ト小工場トニ於ケル有機的ナ關係ニ於テ、之ヲ救済シ更生サセルト云フヤウナ考ヘ方デハ、覺束ナイノデハナカラウカ、寧ロ私ハ平和産業ニ於ケル轉失業ノ救済ヲドウスルカト云フコトハ、國家全面的ノ立場カラ、殊ニ戰時下ノ立場カラ考ヘマシテ、之ヲ如何ニスルカト云フコトガ、相當重大性ヲ國內ニ持ツノデハナイカ、此ノ方面等ノ問題ガ、果シテ今御説ノヤウナコトニ於テナシ得ラレルカ、之ニハ私見ヲ以テシマスナラバ、ドウシテモ所謂組織ト云フモノヲ、再編成シナケレバイカナイト思フノデスガ、其ノ點ハ商工當局ニ於カレマシテモ組織替、即チ生産ノ部面ニ對スル再編成ニ依ツテ、之ヲ救済スル等ノ方法、方針等ヲ何カ御考ヘニナツテ居ラレルカ、ソレ

トモ現在アリマス工業組合ト云フモノヲ強化シテ、之ニ依ツテ全體的ニ所謂相互扶助ノ形、即チ自己更生ノ形ニ於テ、此ノ非常時局ヲ乗切ラセルト云フ御考ヘデアルカ、其ノ點アタリヲ御説明願ヒタイ

○堀政府委員 下請工場ノ下請關係ノ整理ニ依リマシテ、中小工業ノ維持ヲ圖ルト云フコトヲ申シマシタノハ、御話ノ通りハ所謂バ形式的ナ問題デゴザイマス、實質的ノ方面ニ付キマシテハ、只今御話ノ通り日本ノ中小工業ト云フモノハ、マダ〳〵色々ナ點デ缺ケル點ガ多イノデゴザイマシテ、之ヲ實質的ニ力ノアルモノニスルト云フ必要ハ、商工省トシテ十分ニ痛感シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ方法ト致シマシテ、從來トモ成ベク企業單位ヲ引上ゲルコトニ依ツテ、御話ノヤウナ缺陷ヲ、極力少クシタイト云フコトヲ先ヅ考ヘマシテ、企業ノ合同ト云フヤウナコトヲ進メテ參ツテ居ルノデアリマス、デ合同シタ場合ニ、其ノ設備ノ改善ト云フヤウナ要ガアリマスル場合ニ、補助ヲ致シマスルカ、或ハ技術指導ノ爲ニ、指導所ト云フモノヲ諸方ニ置キマスルカ、或ハ講習會ヲ開クトカ、色々ナ方法ヲ執リマシテ、實際的ニ中小工業ノ實力ヲ増シテ行クト云フコトハ、考ヘテ參ツテ居ルノデアリマス、又平和産業ニ從事シテ居ツタ者ガ、時局ノ影響ヲ受ケマシテ、仕事ガ出來ナクナルト云フ例モ多クアリマスルノデ、斯様なモノハ出來ルダケ時局柄必要トサレテ居ル方面ニ振向ケル、例ヘバ代用品ノ工業デアリマスルカ、或ハ輸出産業デアリマスルカ、又軍需方面デアリマスルカ、從來從事シテ居リマシタ業態ニ、成ベク似通ツタモノデ、時局産業トシテ今

後立行クモノニ振向ケテ行クト云フヤウナ
コトモ、從來ハヤツテ參ツテ居ルノデアリ
マス、唯何ト申シマシテモ、最近ノ情勢デ
ゴザイマスノデ、新シク時局産業ニ變ルト
云フコトモ、中々難カシイノデゴザイマシ
テ、全部ガサウ云フ風ニ變ルト云フコトハ
出來マセスカラ、此ノ時局産業ニ轉換サセ
ルト云フ方策モ、今後ズツト繼續シテ執ツ
テ行キタイト考ヘテ居リマス、ソコデ此ノ
中小工業ヲ再編成スルカト云フ御話デゴザ
イマスルガ、是ハ實ハ業態ニ依ツテ違ヒマ
スルノデ、私實ハ餘リ細目ヲ存ジマセヌノ
デ具體的ニハ申シ兼ねマスルガ、事業ニ依
リマシテ企業ノ合同ヲ、將來一層勸奨シテ
參リマスルモノモゴザイマスルシ、サウデ
ナク大體工業組合トカ、或ハ工業小組合ト
云フヤウナモノニ纏メテ、組合員ノ共助施
設ヲ擴充スルコトニ依ツテ、仕事ヲ進メサ
セルト云フモノモゴザイマス、再編成及ビ
共同施設、此ノ兩方策ヲ執リマシテ、事業
ノ強化ヲ圖ラセル積リデアリマス、是マデ
モ工業小組合、或ハ有有限會社ノ組織ハ勸奨
シテ居リマシテ、色々補助ヲシテ居リマシ
タコトハ御承知ノ通りデスガ、是ハ今後モ
ヤハリ繼續シテ參ル考ヘデアリマス

○阿部委員 其ノ企業合同ノ問題デアリマ
スガ、是ハ一般ノ末梢的ナ部分マデ、大分
最近ハ考ヘガ及ビマシテ、此ノ方法デヤラ
ネバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ參ツテ
居ルヤウデアリマスガ、其ノ企業合同ニ關
スル考ヘ方ニ、二ツノ理解ヲ業者達ハ持ツ
テ居ルヤウデアリマス、二ツハ整理統合シ
テ企業合同ヲアルノダ、整理統合ニ依ツテ
企業合同ヲスル場合ニハ、當然現在ノ内輪
ニ於ケル相當ナ數ノ失業者ヲ出スト云フコ

トハ已ムヲ得ヌ、又當然サウ云フ結果ガ來
ルコトヲ豫想シテアルノダ、斯ウ云フヤウ
ニ理解致シテ、ソレニ對スル一種ノ喜ビト、
一種ノ悲劇ヲ感じテ居リマスル者ト、サウ
デナイ、企業合同ハ自分達ノ自己更生ニ依
ツテ、共存共榮ヲ主體トシテ合同ヲ進メル
ノダ、斯ウ云フヤウナ理解ヲ持ツテ居リマ
スル者トガアルノデアリマスガ、商工省ト
致シマシテハ、今ノ企業合同ハ單ナル法制
上ノ問題ヲ除イテ、理念トシテドウ云フヤ
ウニ之ヲ理解シタラ宜イノデセウカ、御説
明願ヒタイト思ヒマス

○堀政府委員 只今御指摘ノ二ツノ觀念ガ
アルコトハ、私共モ左様ニ考ヘテ居リマ
ス、商工省ト致シマシテ、企業合同ヲ勸奨
致シマスル場合モ、兩方ノ場合ガアルト考
ヘテ居リマス、例ヘバ商業者ガ企業合同ヲ
スルヤウナ場合ニ於キマシテハ、必ズシモ
整理統合ヲシテ、轉失業者ヲ出スガ眼目
デハナイノデアリマシテ、業者ノ團結ニ依
リマシテ、例ヘバ冗費ノ節約ヲスルコト云フ
風ナコトモ出來マスシ、御話ノ共存共榮ヲ
主眼トスル企業合同ノ場合モアルト考ヘテ
居リマス、是ハ兩方ノ場合ガアルト考ヘテ
居リマス

○阿部委員 此ノ際私ハ適切ナ例デアルカ
ドウカハ能ク分リマセヌガ、一般ノ工業部
面竝ニ商業部面ニ於ケル、中小以下ノ轉失
業者ノ狀態ニアル者ヲ、救済更生スルコト云フ
立場カラ考ヘマシテ、色々御説明ガアリ
マシタノデアリマスガ、此ノ形ニ於テト云フ
ノハ、此ノ狀態ニ於テ救ヘナイカ、再編成
トカ、再組織トカ、或ハ企業ノ合同ト云フ
ヤウナ結果ニ行カナイデ、此ノ形ニ於テ救
ヘナイカ、斯ウ云フ點モ私考ヘタコトガア

ルノデアリマスガ、結局轉廢業ニ追込マレル
原因ガ、全部ガ全部時局ノ影響ダト云フノミ
ニ、私ハ解セラレナイ、寧ロ時局ノ影響ガ六
ノモノデアルナラバ、後ノ三トカ四ト云フモ
ノハ、人爲的ナ、所謂新體制下ニ於ケル經
濟政策ノ不完備ガ、私ハサウシタ轉廢業ノ
已ムヲ得ザル狀態ニ追込ンデ居ルノデハナ
イカ、斯ウ云フヤウナ點モ、併セテ此ノ際
考慮ヲシナケレバ、全面的ナ救済ト云フコ
トニハ及バナイト云フヤウニモ考ヘタノデ
スガ、其ノ點ニ對シテ、是ハ一ツノ例デア
リマスガ、多クノ國策會社、若クハ續出シ
テ參リマスル統制會社デアリマスガ、此ノ
統制會社ニ對シテ、將來此ノ儘ニ各種目ニ
於ケル統制會社ヲ、強化發展ナサシメル御
意思デ居ラレノカ、或ハ是モ適當ナル時
機ニ於テ收組改編シテ、時局産業ノ強化ニ
適應スルヤウナ組織替ヘヲスル御考ヘデ居
ルノカ、ソレヲ一ツ御伺ヒ致シタイ、ト申
シマスノハ例ヘバ「スクラップ」ノ統制會社
デアリマスガ、今東京及ビ關西方面ニ、其ノ下
ニ故銅商業組合ト云フモノガアリマス、此ノ故
銅商業組合等モ、東京方面ノ例ヲ申シマスル
ナラバ、先祖代々カラヤツテ居リマス店ト
云フモノハ、選別スル技能ヲ持ツテ居リマ
スル主人、若クハ番頭、小僧ノ數モ大體決
ツテ居ル、サウシテ此ノ業ニ關係スル限り、
直チニ素人ガ入ツテヤルト云フ危險性モナ
ケレバ、又他カラ直チニ侵入サレルト云フ
危險性モナイ、モウ一ツハ「スクラップ」ソ
レ自身ニ於キマシテモ、關西ニ於テ何「ト
ン」、關東ニ於テ何「トン」、統制會社ノ最
後ノ帳面ニ於ケル計數ニ於テハ、毎月多少
ノ變化ガアリマシテモ、略、想定ノ付ク數量
ガ出ルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ取扱

フノニ統制會社ガアリ、其ノ下ニ代理店ガ
アリ、其ノ下ニ指定商ガアル、サウシテ其
ノ下ニ商業組合ガアル、其ノ商業組合ノ中
ニ一部ト二部トノ兩制ガアル、サウシテ其
ノ外ニ尙ホ末梢的ナ部分ガアル、斯ウ云フ
ヤウナ狀態デ、ソレカラ一千五百「トン」ナ
ラ一千五百「トン」ト云フモノヲ一箇月ニ集
メルト致シマシテモ、斯ウシタ統制會社ガ
出來ザル前ニハ、或ハ代理店トカ、指定商
ガ出來ザル前ニ於テハ、何レニシマシテモ東
京方面ニ於ケル四、五百軒ノ此ノ故銅商ト
云フモノガ、ソレニ依ツテ安全ニ生活ヲ維
持シテ參リ、又其ノ下ニ居リマスル數千ノ
番頭及ビ小僧ト云フモノガ、又安心シテ生
活シテ居ツタ、然ルニ最近ハ統制會社ガ出
來マシテ、其ノ統制會社ノ下ニ代理店ガア
ル、指定商ガアルト云フヤウナ結果、先祖
代々カラ暖簾ヲ持ツテ居ツテ、故銅ヲ集メ
テ居ル商業者ガ、統制會社ガ出來ザル前ト出
來タ後ニ於テハ、數字ガ逆ニナリマシテ、
統制前ニ於テハ約八割マデヲ集荷致シテ居
リマシタモノガ、今日デハソレガ約二割五
六分ニナツテ、後ノ七割乃至七割五分ト云
フモノハ、其ノ統制會社ノ下ニ於ケル代理
店、若クハ指定商及ビ「リンク」ノモノ、サ
ウ云フヤウナ方面ニ取ラレテ、結局四百乃至
四百五十軒ノ故銅集荷業者ガ、立ドコロニ
失業ノ狀態ニ入ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ
コト等ヲ、仔細ニ數字のニ見マスルト單ナ
ル時局ノ影響ト云フ言葉ダケデハ解釋出來
ナイデ、組織ノ編成替ヘガ適切デナカツタ
ト云フ結果カラ來タ、所謂人爲的ナ轉廢業ヲ
惹起シツツアルト云フ例ハ決シテ珍ラシク
ナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ問題等
ヲ考ヘマシテ、商工當局ニ於テハ、此ノ統

第六類第二十二號 國民貯蓄組合法案外四件委員會議錄 第二回 昭和十六年二月十五日

制會社ト云フ今日ノ組織機構ガ正シイモノデアツテ、之ヲ強化スルコト云フ方針ヲ持ツテ居ラレノカ、或ハヤツテ見タガ、コト一年ナリ一年半ノ經驗ニ於テ、色々ナ問題ガ生ズルノデ、之ヲ將來ニ向ツテ改組、若クハ改廢スル御考ヘデアアルノカ、或ハサウ云フ統制會社ガアリマシテモ、故銅ノミナラズ、其ノ他ノ統制會社デモ、私ガ申上ゲルヤウナ結果ハ商工省ニ於テ報告ヲ聽イテ居ナイト云フコトデアリマスカ、斯ウ云フ點ヲ一ツ御説明願ヒタイ

○堀政府委員 各種ノ統制會社ガ出來マシタ爲ニ、業者ガ迷惑シテ居ルト云フ御話ハ、私共モ時折聞イテ居リマス、只今例ニ御舉ゲニナリマシタ問題ニ付テハ、具體的ニ私ハ承知致シマセヌガ、統制會社ト云フモノノ作り方ガ適切デナイ爲ニ、業界ノ方ガ困ルコトガアルト云フコトハ、商工省ニ於テモ承知シテ居リマス、唯時局ノ影響ト申シマスカ、重要物資ニ付キマシテ、其ノ配給或ハ回收ト云フコトニ付キマシテ、唯業者ノナスガ儘ニ任セテ置イタノデハイカスト云フ事情ガ、段々殖エテ參リマスノデ、其ノ爲ニハ今後モ必要ニ應ジマシテ、統制會社ト云フモノモ作ラザルヲ得ナイノデハナイカト考ヘテ居リマス、物ヲ配給統制致シマス場合ニ、新シク會社ヲ作ルカ、或ハ既存ノ商業組合ト云フヤウナモノヲ利用致シマスカ、是ハ其ノ時々ノ問題デゴザイマスカラ、ヤハリ必要ニ應ジテハ、統制會社ト云フモノガ、今後モ出來ルコトニナルデアラウト考ヘテ居リマス、唯其ノ作り方ニ付キマシテハ、從來トモ相當氣ヲ付ケテハ居ルノデゴザイマス、企業ノ整理合同ト云フコトニ付キマシテモ、ドウモ劃一的ニ、機

械的ニ實行サレテ困ルト云フ御話モアリマシタノデ、決シテソシナコトノナイヤウニト云フ意味ノ通牒ヲ、地方廳ニ出シマシテ、出來ルダケ實情ニ即シテ、企業ノ合同ト云フヤウナコトモ實行スルヤウニ、是マデモ注意致シテ居リマスガ、統制會社ト云フヤウナモノヲ作リマス際ニ於キマシテモ、新シク組織ガ出來タ爲ニ、從來其ノ關係ノ仕事ヲシテ居ツタ人ガ、突然トシテ困ツテ來ルト云フコトノナイヤウニハ、十分注意スル考ヘデ居リマス

○阿部委員 此ノ點ハ多少見解ノ相違ニナルカト、私ハ思フノデアリマスガ、要スルニ問題ハ、轉廢業者ヲドウシテ更生シテ行クカト云フ一點ニ歸着スルト思フ、今回提案サレテ居リマス更生金庫デアリマスガ、此ノ更生金庫ノ目標ガ、時局ノ影響カラ受ケル産業ノ轉廢業者ヲ、之ニ依ツテ更生ナサシメル、サウ云フ爲ニ融通資金トシテ、更生金庫ガ設立サレルノダト云フヤウナ御趣旨ノ、御説明ガアリマシタガ、私ハ是モ一ツノ方法デアリマスルガ、先程大藏當局カラノ御説明ガアリマシタヤウニ、此ノ更生金庫ガ設立サレマシテモ、是ダケニ於テ現在ノ不安ナル中小商工業ノ轉廢業者ヲ更生スベキ、最モ有力ナル方法ダトハ考ヘラレナイノデアリマス、ナゼナラバ、私共ハ過去ニ於テ經驗致シマシタ昭和七年カラ八年ニ於ケル非常ナ不況時代ニ、中小商工業者ノ救済ノ爲ニ、地方府縣ノ補償ノ下ニ於ケル、無擔保融資ト云フモノガ設立サレタ、是モ最初ノ觸レ出シハ相當デアリマシタケレドモ、結果ニ於テハ大シテ中小商工業者ノ救済ノ方法ニナラナカッタ、次ニハ保證協會ノ下ニ於ケル無擔保ノ融資ト云フモノニ依ツ

テ、中小商工業者ノ産業ヲ更生シヨウト云フ段取りニナツタ、ソレカラ續イテ商工中央金庫、或ハ最近ニ於ケル庶民金庫等々デ、其ノ目標ト性質ハ異ツテ居リマスケレドモ、其ノ時局々々カラ生ズル産業戰線カラ落伍シ、落伍セントスル者ヲ更生シ救済シヨウ、或ハソレ等ニ從事致シテ居ル人達ノ生活ヲ擁護セントスル爲ノ資金ニ、斯ウ云フ一ツノ便法ガ設ケラレタト云フコトハ、共通シタ考ヘ方ダト思フノデアリマス、今日マデサウシタ四種ニ互ツテヤツテ居リマスガ、其ノ實績ヲ率直ニ見ルト、ソレニ依ツテ更生シタト云フ數ハ、極メテ微々タルモノデアツテ、其ノ責任者ノ報告ハ、唯貸付ハシタケレドモ、損失ハ比較的「バーセンテージ」ガ低カッタ、割合ニ好イ結果ヲ得タト云フ報告デアツテ、其ノ本來ノ目的デア

ル産業人ガ、ソレニ依ツテ更生シ、ソレニ依ツテ救済サレタ、新シイ出發ガ出來タト云フ爲ニ、是等ノ金ガ相當役立ツタト云フ報告ハ、極メテ少イノデアリマス、ソレハドウ云フ所ニ原因致シテ居ルカト申シマス、勿論運營其ノ宜シキヲ得ナカッタト云フコトハ、申スマデモナイコトデアリマス、申込デ借り出スマデニハ、長キハ數箇月掛ツタ例モアリマス、最近ハ非常ニソレガ敏速ニナツタ、ソレデモ數週間モ日子ヲ費シテ居リマス、而モサウシタ際物的ナ金ガ、適切ナル時期ニ貸シテ戴ケナカッタト云フコトト、其ノ要求ガ切ナル要求デ、正直ニ申出テモ、ソレニ對シテ帶ニハ短カシ襷ニハ長シト云フヤウナ關係ノ金シカ融通サレナイ爲ニ、負債ノ整理ニシマシテモ、或ハ轉失業ノ場合ノ資金ニシマシテモ、ソレニ依ツテ更生スルダケノ有力ナル資金デハナカ

ツタト云フコトガ、結果ニ於テ好イ成績ヲ得ナカッタト云フヤウナ過去ノ實例カラ見マシテ、今度ノ更生金庫モ大體二千萬圓デ、ソレノ十倍ノ資金ガ運用サレルト云フヤウナ結果ニナツテ居リマスガ、數字カラ見ルト、相當重ト私ハ考ヘマスケレドモ、此ノ轉廢業者ノ向ツテ進シツアル現在ノ中小商工業者ノ數字ハ、他日御示シ下サルト思ヒマスカラ申上ゲマセヌガ、私ノ調査ニ依リマス、中々少イ數字デハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ數字ノモノヲ、資金ノ融通ニ依ツテ更生シヨウトシテモ、果シテ效果ヲ得ラレルカドウカ、昨年開業シマシタ更生金庫デハ、損ヲ見込デ貸スノダト云フ御話モ伺ツタノデアリマスガ、ソレハサウ云フ結果モ豫想サレマス、併シ損ヲ見込デ貸スト云フガ、金庫ノ方ガ損ヲシテモ、其ノ金ガ他ノ形ニ於テ現ハレル時ニ於テハ、國家全體カラ見、産業全體カラ見テ、私ハ有意義ニ使ハレタト想像サレルノデスガ、金庫ノ方モ損ヲスル、借りタ個人モソレヲ何ノ爲ニ使ツタカ分ラナイト云フコトデハ、全體ノ産業ノ上ニ、極メテ遺憾ナ結果ヲ招來スルノデハナイカ、サウ云フ觀點カラ見マシテ、今度ノ更生金庫ガ設立サレテ、一番裾ハドノ程度ニ、或ハ上ハドノ程度ニオヤリニナルカ、私マダ能ク承知シマセヌガ、果シテ是ダケデ宜イノカ、是デ救済シ、或ハ更生スル所ノ自信ガ、ハツキリアリニナツテ、此ノ案ガ作ラレタカドウカ、勿論將來ノ見透シナリ、計畫ヲ御立デニナツテヤラレタコトト思ヒマスケレドモ、サウシタ過去ノ實例カラ見マス、此ノ形ニ於テハ又生レントスル轉廢業者ノ更生ニハ、極

メテ短イノデハナカラウカ、帶ニモ襪ニモ私ハ短イモノデハナカラウカト思フガ、斯ウ云フ點ニ對シテ、モウ少シ政府當局ニ於テモ考慮ノ餘地ガナイカ、斯ウ云フ點ヲ、モウ一ツ御説明願ヒタイノデアリマス

○相田政府委員 只今ノ御質問、洵ニ御尤モト存ジマス、從來ノ轉業資金ノ貸出等ニ付キマシテ、或ハ所期ノ效果ヲ擧ゲ得ナカツタデハナイカト云フ御批判デゴザイマスガ、今マデノ金融ノ考ヘ方ト致シマシテハ、結局轉業ノ場合ニ於キマシテモ、轉業後ノ新シイ業務ニ付キマシテ、收支採算ノ可能デアルカドウカト云フ所ニ着目ヲ致シマシテ、貸出ヲ致スノデアリマシテ、其ノ場合ニ危險ヲ伴フノデアルカラ、損失ヲ補償スルト云フコトニ致シテ來タノデアリマス、此ノ國民更生金庫ニ於キマシテハ、其ノ設立ノ趣旨ガ、轉業計畫ヲ圓滑ニ促進遂行セシムルコトガ出來ルヤウニ既ニ御説明モ申上ゲマシタ通り、舊業務ノ用ニ供セラレテ居リマシタ資産ヲ、一應營業ヲ繼續スルモノトシテノ評價ニ依ツテ、其ノ處分ヲ引受ケ、之ヲ見返リトシテ資金ヲ貸付ケルト云フ方法ヲ執ルノデゴザイマスカラ、從來ノヤリ方ト違ヒマシテ、御案ジニナツテ居ラレマシタ點モ、一層圓滑ニ所期ノ目的ヲ達シ得ルヤウニ、此ノ金庫ノ事業ヲ行ツテ行クコトガ出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、隨テ此ノ金庫ノ業務ニ付キマシテハ、處分ヲ引受ケマス資産以外ニ、更ニ擔保ヲ取ツタリ、保證人ヲ立テシメルヤウナコトモゴザイマセヌシ、又引受評價額ト、實際處分價格トニ差額ヲ生ジマシタ場合、ト申シマスノハ損失ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ於キマシテモ、之ヲ債務者ニ追求スルヤウ

ナコトヲ致シマセヌデ、其ノ損失ハ政府デ之ヲ補償スルト云フ建前モ執ツテ居リマスシ、從來ノヤリ方トハ、其ノ根本ノ考ヘ方ニ於キマシテ、可ナリ違ツタ所ガアリマスノデ、國民更生金庫ハ、必ズヤ時局ノ要請ニ應ジテ、轉業ヲ必要トスルモノニ對シマシテハ、其ノ轉業ノ計畫ノ實行促進ニ貢獻シ得ルモノト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、御説ノ趣旨ニモ鑑ミマシテ、尙ホ此ノ運営上十分ニ注意致シテ行キタイト存ジマス

○阿部委員 其ノ點ニ對シテモウ一點伺ヒタイト思フノデスガ、此ノ運営上ノ問題デ更生金庫ノ金ヲ使用スル場合ト、庶民金庫ノ金ヲ使用スル場合ト、勿論商工金庫トカ、若シハ各銀行ニ於ケル持チ金ノ産業資金トノ關係ハ、可ナリ明瞭デ分ルノデスガ、庶民金庫ト更生金庫トノ利用ニ對スル利用者側ノ概念上ノ、ハツキリシタ區別ト云フヤウナモノハ、法制的ニ何カ明確ニサレルノデスカ、ソレトモ利用シタイ方ヲ利用シテモ宜イト云フヤウナ考ヘデ居ラレノデスカ、其ノ點御説明願ヒタイト思ヒマス

○相田政府委員 法制的ニ區別スルト云フコトハゴザイマセヌガ、只今モ申上ゲマシタヤウニ、此ノ國民更生金庫ハ、舊業務用ノ資産ヲ、一應營業ヲ繼續スルモノトシテノ評價額ニ依ツテ、其ノ處分ヲ引受ケ、處分ガ實際ニ行ハレルマデノ間、之ヲ見返リトシテ資金ヲ融通スルト云フ方法ニ依ルノデアリマスルカラシテ、融通シ得ベキ金額ガ、比較的豊富ニナル譯デアリマス、既設ノ金融機關ニ於キマシテ、資金ヲ貸出シマスノハ、庶民金庫ノ場合ト雖モ、尙ホ將來ノ其ノ債務者ノ事業ノ如何ト云フコトヲ主

眼ト致シマシテ、將來其ノ人ガ新シイ事業ノ經營ニ依ツテ、其ノ債務ヲ償還シ得ルカドウカト云フ點ニ、重點ヲ置クノニ反シマシテ、此ノ國民更生金庫ハ、將來其ノ人ガ新シイ事業デ旨ク行ツテ、此ノ債務ヲ償還シ得ルデアラウカト云フヤウナコトニハ拘ラズニ貸出ヲスル、サウ云フ點ニ於キマシテ國民更生金庫ハ、從來ノ金融機關トハ非常ニ性質ガ違ツテ居ルト申スコトガ出來ルト存ジマス

○阿部委員 是ハ質問デハアリマセヌ、此ノ際若シ御教示ガ願ヘルナラ幸ヒダト思フノデアリマス、ソレハ戰時下ノ統後國民トシテ、貯蓄精神ノ獎勵、貯蓄心ノ涵養ノ必要ナコトハ、是ハモウ當然ナコトデ、何等私共ガ疑義ヲ挿ム餘地ハナイノデアリマス、隨テ國民ガ總掛リニナツテ貯蓄シタ其ノ資金ガ、何レノ方向ニ使ハレルカ、率直ニ申シマス、經濟觀念ト言ヒマスカ、經濟思想ノ高度ナ人達ハ、現在ノ貯金ノ實質及ビソレノ使用ノ方法、又何ガ故ニ隣組ト言ハズ、町會ト言ハズ、或ハ組合ト言ハズ貯蓄ノ獎勵ヲ大掛リニナツテヤラレテ居ルカト云フ眞相ハ、十二分ニ理解サレテ居ルノデアラウト思ヒマスガ、比較的ニ經濟知識ノ低い階層ニ於キマシテハ、動モスルト數字ノ概念カラ、一ツ錯覺ヲ起シテ居ルノデナカラウカト云フコトヲ、私ハ時々ノ場合ニ於テ實感ヲスルノデアリマス、ト申シマスノハ今日ノ戰爭ガ、一大消費戰デアルト云フ實相ヲ理解シナイデ、尙且戰爭ニ依ツテ個人經濟ガ裕福ニナル、戰爭ニ依ツテ國家ノ財政ガ榮ニナル、戰爭ト云フモノハ金ガ出來ルモノデアアル、國家ノ富ガ出來ルモノデアアル、モツト他ノ言葉デ申シマス、第一次

歐洲大戰當時ニ於ケル國內ノ通貨ノ動キト云フモノト、今日ノ日支事變ニ於ケル通貨ノ動キト云フモノト、個人所得ノ數量ト云フモノト同一ノ「ライン」ニ於テ考ヘルト云フコトガ、可ナリ下方ノ經濟知識ノ比較的乏シイ人達ノ間ニハアルノデアリマス、サウ云フコトデ動モシマスルト、數日前ニ東京ノ新聞ヲ賑ハシマシタガ、朝カラ劇場ノ周圍ニ殺到スル、或ハ溫泉場ニ行ツテモ宿ガナイ、二等汽車ハ滿員デ乗レナイト云フヤウナ、社會的ナ病根ヲ藏シタ一ツノ考ヘ方ノ誤リガ起ツテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、私ハ實感ヲスルノデアリマス、併シナガラドウモ私如キ經濟知識ノ不確實ナモノニアリマシテハ、非常時下ニ於ケル經濟戰ト云フモノノ實相ヲ、彼等ニ十二分ニ説明シ得ル言葉ヲ持セガナイノデアリマス、斯ウ云フコトガ動モシマスレバ、サウシタ社會惡ヲ釀成スル原因ダト知りツツ、言ハントシテ言ヒ得ズ、示サントシテ示シ得ザル憾ミガアルノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ何トカ良イ考ヘヲ以テ、此ノ階層ノ人達ニ、此ノ經濟ノ實相ヲ知ラシメ、サウシテ自肅ノ精神ヲ自ラ涵養セシメルト云フヤウナコトニ、貯金獎勵ト併行シテ隣組ナリ、或ハ常會ナリ、サウ云フ方面、サウ云フ人達ヲ通シテ、之ヲ理解セシメル方法ガナイカドウカ、或ハ私ノ斯ウ云フヤウナ實感ガ間違ツテ居レバ、ソレハ幸ヒデアルト思フノデスガ、御説明ヲ願ヘバ幸甚ダト思ヒマス

○栗原政府委員 貯蓄ノ獎勵ニ付キマシテ或ハ十分ニ徹底シナイノデハナイカト云フヤウナ點ニ付キマシテ、申上ゲタイト思ヒマス、御話ノアリマシタヤウニ、貯蓄ノ獎勵ヲ致シマシテ、貯蓄ノ必要性ヲ十分ニ認

識致サセマス爲ニハ、講演會デアルトカ、或ハ文書等ニ依リマシテ、凡ユル方面ニ向ツテ其ノ趣旨ノ徹底ニ努メテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ御話ノアリマシタ、隣組、町内會ト云フ如キ下部組織ニ至ルマデ、貯蓄ノ必要性並ニ貯蓄ノ精神ヲ十分ニ昂揚シナケレバナラヌト云フコトハ、夙ニ痛感致シテ居ルノデアリマシテ、段々ニ徹底シテ參ツテ居ルト考ヘテ居ルノデゴザイマス、國民貯蓄獎勵局ノ行ヒマシタ講演等ニ致シマシテモ、非常ニ多數ノ回數ヲ重ネテ、殆ド津々浦々ニ互リマシテ、時局ノ認識ヲ深カムル爲ニ、努力致シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、然ルニ歐洲戰爭ノ時ノヤウナ狀態ガ、一部ニアルヤウデアルト云フ御話デゴザイマシタガ、時局ノ影響ニ依リマシテ、急激ニ所得ノ増加致シタ階級、或ハ階層ト申シマスカ、サウ云フ部分ガアルノハ事實デアリマシテ、貯蓄ノ獎勵、消費ノ節約ノ趣旨ヲ徹底致シマス爲ニ、先ヅ第一ニ此ノ方面ニ着目致シマシテ、此ノ方面ノ貯蓄勵行ノ指導ニ努力致シタノデアリマス、今日ニ於キマシテハ事變ノ勃發當時ニ比較致シマス、サウ云フ傾向ハ段々ニ薄ライデ來テ居ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、現下ノ經濟戰ノ實相ヲ國民ニ十分ニ知ラシムルコトノ必要ニ付キマシテハ、洵ニ御同感デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテモ凡ユル努力ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス

○阿部委員 最後ニ一ツノ御尋ネヲ致シタインデアリマス、是ハ商工當局カラ御答辯ヲ願ヒタイ、先程來ノ御答ヘニ依リマシテ、商工當局ガ御考ヘニナツテ居リマス轉廢業者ニ對スル方法等ハ、略、理解致シタノデ

アリマスガ、尙ホ御伺ヒ致シタイと思フ要點ハ、具體的ナ方策、對策ガ商工省ニ於テ今日マデ立テラレテ居ルカドウカト云フ問題デ、多少ハ厚生省ニモ關係ガアルノデアリマスガ、私ノ御答ヘヲ願ハント欲スル問題ハ、現在マダ轉廢業ニ至ラヌケレド、將來時局ノ波ニ押サレテ、相當打撃ヲ蒙ルモノ等ヲ、如何ニシテ救済スルカ或ハ更生スルカト云フ此ノ具體案、モウ一ツハ中小商業ノ方面等ニ於キマシテハ、之ヲドウ引續リ返シマシテ、物資缺乏其ノ他ノ關係カラ、數ノ整理統合ガ必然デアアル此ノ人達ヲ整理統合シテ、一ツノ組織ノ再編成ヲ致シマス際ニ生ズル轉廢業者ヲ、ドノ方法ニ依ツテ救済若クハ更生スルカ、第三點ハ既ニ時局ノ影響カラ轉廢業、若クハ失業ノ群ニ落チテ居ルモノ等ヲ、ドノ方法ニ依ツテ更生若クハ救済スルカ、此ノ三點ニ付テ具體的ナ方法ガアレバ、御示シヲ願ヒタイと思ヒマス

○堀政府委員 第一點ノ現在轉廢業ヲシテ居ナイ、ソコマデ行ツテ居ラナイケレドモ、將來打撃ヲ蒙ルコトガ必然デアアルモノニ對シテ、ドウスルカト云フ點ニ付テ、先ヅ御答ヘ申上ゲマス、是ハ先程モ一寸申上ゲマシタヤウニ、工業方面ニ付キマシテハ、業種別ニ事業ノ整理要綱ト云フモノヲ立テマシテ、ソレヲ段々末端ノ組合ニ及ボシテ參リマシテ、實行スルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、之ヲ實行致シマス場合ハ、已ムヲ得ズ相當ノ轉廢業者ヲ出サザルヲ得ナイと思ヒマス、ソレ等ノモノ、及ビソレカラ第二ノ御質問ノ中小商業業者ニシテ、今後ノ事業ノ整理統合ニ依ツテ、轉廢業ノ已ムナキニ至ルモノ、是ハ具體的ニドウ云

フ商賣ヲシテ居ツタ人ヲ、ドノ方面ニ向ケルカト云フコトマデハ、マダ何等決ツテ居リマセヌ、唯先程申シマシタヤウニ、職業指導所、勤勞訓練所等ノ活躍ニ依リマシテ、出來ルダケ適當ナ方面ニ振向ケテ行クト云フコトニ致サザルヲ得ナイト考ヘテ居リマス、ソレデ中小工業ニ對スル整備要綱ニ當ルヤウナモノヲ、中小商業ニ付テモ、出來ルダケ決メテ參リタイと思ヒマシテ、是ハ只今研究ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレカラ第三ノ御質問ハ、既ニ失業シテシマツタ者ヲドウスルカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハヤハリ職業指導所等ト重要産業方面ト連絡ヲ執リマシテ、是等ノ人ヲ收容スル途ヲ講ズル外ナイノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、是モ具體的ノ方策ト云フモノハ、マダ決定シテ居リマセヌ

○阿部委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ、尙ホ大臣ガ才見エニナリマシタラ、一點御伺ヒ致シタイと思ヒマスカラ、御願ヒ致シマス

○菊池委員長 伊東君此ノ次ニシマスカ

○伊東委員 資料ヲ要求シテ居リマスノデ、資料ガ參リマシテカラ、此ノ次ニ質問致シタイと思ヒマス

○菊池委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致スコトニ致シマシテ、次會ハ明後日ノ午前十時カラデアリマスガ、是ハ速記ノ關係又部屋ノ關係デ、明後日午前中ダケノ豫定デゴザイマスカラ、午前中ニ質疑ヲ致シテ戴キタイと思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十二分散會